新型コロナワクチン
市内での副反応の事例は

佐藤　寿宏 (たちかわ自民党・安進会)

問　高齢者や一般の市民にワクチン接種が進んでいますが、感染者数は増加し続けています。一方で、ワクチン接種後に血栓ができた、歩行困難になったなどさまざまな症状が報告されています。本市において副反応により重篤化した方は何人いたのでしょうか。また、ワクチンの成分についての説明に、塩化カリウムが添加されているとあります。塩化カリウムは劇薬であるとの報道があり、副反応との因果関係が危惧されていますが、市の見解を伺います。

答　ワクチン接種の副反応については、注射した部位の痛みや頭痛、発熱等があったことは多数報告がありますが、接種が原因で重篤化した事例の報告は、本市においては現在のところありません。ワクチンに添加されている塩化カリウムについては、国の専門家による審議会等で検証や議論が行われ、安全性が確認されて認可されたものなので、本市としては、国の方針に沿って接種を進めているところです。

一般質問項目
①新型コロナウイルスについて　②ＲＳウイルスについて　③除草剤（ラウンドアップ）について

新型コロナの自宅療養者
関係機関と連携して対応を

稲橋　ゆみ子 (立憲民主・たちかわ)

問　保健所がひっ迫しており、本市も連携して対応する必要があると考えます。市民は保健所に電話をしてもつながらず、つながっても医療機関が決まらない、ではどこに相談すればいいのかと不安です。市民の命を最大限救済するためには医師会、医療関係者への協力が不可欠です。在宅療養者に対し、適切な治療体制を整えるために医師会、保健所と連携して課題を整理し、今後に向けた対応を協議すべきです。現状や今後の対応を伺います。

答　８月に新型コロナウイルス感染症関係者会議を開催し、医師会、新型コロナ対応病院、保健所と協議を行いました。会議の場で出た要望等を受け、都に対し自宅療養者への更なる支援の要請を保健所圏域６市で行いました。今後も必要に応じて、医師会等の関係機関と協議をしていきたい。自宅療養者には、医師との電話相談や往診を行い、保健所と連携して、入院等の対応をしていると聞いています。

一般質問項目
①「新型コロナ感染＝災害」から市民の生命を守るために　②「脱プラスチック」を目指して！！

中小事業者支援
適切なタイミングで実施を

山本　洋輔（緑たちかわ）

問　９月から始まった「たちかわ大好き！最大30％戻ってくるキャンペーン」について、中小事業者を応援したいという趣旨には大いに賛同します。しかし、緊急事態宣言下での実施となり、厳しい状況と思われます。本事業の利用見込みや実施判断の経緯について伺います。また、今後も同様の施策を実施する場合、どれくらいの準備期間で実施できるのでしょうか。より適切なタイミングを見計らって実施の判断をしていただきたいと考えます。

答　今回の９月実施については、実質６月末時点での予測に基づいて時期を決定しました。その後、緊急事態宣言が延長され、感染急拡大の様相となりましたが、事業者からの期待も大きく実施の判断をしました。今回の実施には準備に２か月かかりましたが、９月のキャンペーンでポイント還元額を使い切らなかった場合、２回目は最短1か月程度の準備期間で、年度内に再度キャンペーンを実施できると考えています。

一般質問項目
①新型コロナウイルス感染症対応について　②生活が困窮している人たちへの支援について　③プラスチックごみ問題について

廃棄物に埋もれた家
問題解決に向けた流れは

くぼた　学（NHKから国民を守る党）

問　市内にある産業廃棄物に埋もれた家は、２m以上も積まれた廃棄物が家の半分以上を埋め尽くしており、雪崩のように崩れ落ちないか不安な状況です。例えば、子どもが好奇心からつい入り込んでしまった場合に、とても危険です。このような状況が長年放置されている場合は、近隣住民の安全のためにも行政が関わる必要があると思います。占有者との話し合いで解決に至らない場合、今後の廃棄物撤去の方法や費用について見解を伺います。

答　本件については、土地占有者に対し、電話や現状での状況確認、廃棄物排出元の聞き取りなど話し合いを繰り返すと同時に、都とともに、現場での分別指導を９回にわたり実施したほか、本人を呼び、指示書や警告書を発行するなど、再三の行政指導を行っています。今後も指導を継続していきますが、仮に最終段階として市が処分した場合、占有者が廃棄を認めた量にかかる処分費用を請求することになります。

一般質問項目
①廃棄物に埋もれた家について

陳情はこうなりました

①陳情を議会で採択
令和3年第2回定例会で、「陳情第10号　西砂町の交通不便解消に関する陳情書」を採択

②市長に送付

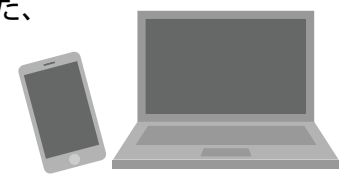
③市長からの報告
市長から次のとおり報告がありました。
『西砂町の交通不便解消にあたり、「西砂川循環線の増便」についてバス事業者に照会したところ、現在の利用状況では困難との回答をいただいたことから、まずは、地域の方の声を聴く機会を設けたうえで、「くるりんバス（西砂ルート）」のルートの一部変更について検討を進めてまいります。また、そのほかの福祉的な視点を含めた移動手段のあり方については、本地域のみならず、全市的な検討を続けてまいります。』

くるりんバス

インターネット中継をご利用ください

本会議と常任委員会・特別委員会は、インターネットでライブ中継を行っています。また、過去の会議の録画配信も行っています。

市議会
インターネット中継



議長・副議長の主な公務

7月12日　オリンピック聖火リレーセレモニー
8月20日　パラリンピック聖火採火式
9月29日　パンナムスポーツ第5回実行委員会
10月23日　高齢者のつどい

※その他の公務については、立川市議会ホームページの議長公務日誌をご覧ください。

福島正美
議長

中山ひと美
副議長

監査委員の活動

８月23日　令和２年度決算等・財政健全化等審査講評
９月28日　令和３年８月分例月出納検査
10月25日　令和３年９月分例月出納検査

頭山太郎（議会選出）